

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年09月01日

計画の名称	大東市小中学校周辺における防災力の向上（防災・安全）														
計画の期間	令和05年度 ～ 令和06年度（2年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	大東市														
計画の目標	令和5年度から令和6年度の2か年で、小中学校6か所に防災備蓄倉庫を建設する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		103	A	103	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5年度当初		R6年度末
1	備蓄物資の運搬時間を短縮する。			
	備蓄物資の運搬時間の短縮	10分	分	2分
2	備蓄物資の運搬距離を短縮する。			
	備蓄物資の運搬距離の短縮	300メートル	メートル	10メートル
3	備蓄物資の運搬にかかる人員を削減する。			
	備蓄物資の運搬にかかる人員の削減	6人	人	2人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市の危機管理室にて実施	令和7年3月
	公表の方法
	本市のホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	備蓄物資の運搬距離が短くなったことで運搬時間の短縮と合わせて人員の削減にも繋がっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	学校の校舎内に備蓄物資を保管していたため、備蓄物資の管理がしやすくなった。 本市職員や市民の方等にとって防災備蓄倉庫の場所が分かりやすくなった。
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	2分	
	最 終 実績値	2分	
2			
	最 終 目標値	10メートル	
	最 終 実績値	10メートル	
3			
	最 終 目標値	2人	
	最 終 実績値	2人	